日本は近視眼國

その豫防法は

各種印刷さ製本印刷機械及材料

型 强金 图 7 - 85 97 8

央通 ) 五〇

(西公園前)

電話二八五三番

便局

製林及原木

即小賣 北原紙店

はこことの四

新京東 話京東一條通 九二年 生 九三番

整察

石四材木店

中央通

蓬莱町

新京東一條通り 生 生 生 生 土 九 三 番 り

加も避妊も 思ひのまゝ かっ

き、榮養價値の減少すること特製すると乗養素の破壊を招 冷凍はやめてガスで保存す

支店四平街 不街

行

石炭商

新泰洋行

百聞は一見・是非一度御來店を

店の

則です

廉!

堅牢!

電話二二九七番

本溪湖炭

各種炭販賣

優

**金牌受領滿鮮唯一** 

春向新柄

服地も

滿

に

着

荷

海の外から

開業紀念として

三月中衛優待申ます

關東軍司令部御用達

本店 华犬战逃過

山本寫眞舘

入荷

中折帽子 ネクタイ

ワイシャツ

語京三笠町

部 赤

電話三八六九番 行

ステツ

消便塵壁和}萬高事內和洋

交具と紙の 和郑紙名製造元代 理

年极務外式式 筆文用文帳帳 類類種紙紙 類具品具面簿 庫量斗書筒 各衡水卷便 確器引紙箋 類品木木類具

新京で 揃ふ一番安 番文具の 店は

・ミスケイ・レンスニニ

寫校角尺图圖 板用定定紙機

8 宮崎

家屋衛新架設計 首時組長春史店 [\$2]48至]

年 3 共三研究ラ重マ時代ニ オクレス州意フリ 構造ノ合理化ト施工技術/ 優秀の飲む/生命 \*\* 哲板設備の先ラ以ラ舞和鉄 ラ神速線ナタ市台 ックと

皆様の御期待に副ふべく

東都から優秀職人數名招聘

會社最高製

品

其他依然是各种多世 他かの電気料で側板が美味しく炊ける 文化『かまざ』と保熱釜 · 城内五馬路大通西角 和 登洋行 ROBOLE

種機械工事熱器排水等分

可

電氣コタラ

萬能七輪

力

電鈴

請

ートル殺電機

ト記丸十へ御用命を構電工事指定店の

西鄉七六

# IOIIII

電機商會支店

気の店

石团林木店 電話 三八八一番 おからだに おつて集製 野

松花江便り

第二支隊長 日野武雄

の既散策の神被勞に せんぎり クーキ各種 迅 江戸前のおしるこ

地服洋 台物嶄新柄 横二田 A へ 荷 店 四八本

⑦ みしまや 電話二五三五百 吳服店

話二七五三番

满蒙毛織百貨店

枕杉電原 木共 丸柱木 他太木材

ト乞即指定

=

• 秋田两會木材條計新京支店 新京曙叮二丁目二六番地

大連 支持 ( ) 電話二九六八番

そして、このわしを使ふ気だなったり、 このわしを使ふ気だなでは、 真隣に親いるまでの方でなら、 真隣に親いるまでの方

りのをとしてはか、何をかいはちこしたと、 できるらしい土人だちの寒々がいとして脱が、一角がは、一角が、大寒にたから、大寒しして脱が、大寒にから、大寒しにから、大寒しにから、大寒しにからながれる。 たい はっこった。 かい はっこうに はっこうに はっしん はっこうに とっこうに はっこうに とっこうに はっこうに はっこう 省の情熱を再

診療(至午後五時)日階祭日午前中

母話二六〇六谷



八八

婦人科科

特 賣 中

診療受付 正午より午後三時まで

念自于第二

否林堂醫院

募集 約店

神小內經兒科科

島醫院

診療時間 至午時

大時(日際祭日午後休齡)

てゐます、是非一度御出向きを願上ます 第樂の温い部屋で藝妓一同御待ち申上げ

200

吉野町一ノー四 電話三三四五番

口腔外科

小澤醫院

京城省村 京城临科

華士

松田本中政

俊勳

御

華士

祝町太子堂前

電話二九五八番

品語ダハケ朝 六 時マデ御選組ヲ明マス

安利山腔科

醫院

内科

小兒科、

善生堂醫

気括三一七一番

入院随意

新京祝町 花柳泉 杯別 秋

1一(中央公館夏隣)

往宅診 午後二時より午後二時まで午前九時より午後二時まで 念無比の限りにあらず)

日本橋詰新京ピル二階一號室 - 毎週月曜日祭日 村田醫

性內 本 イン中毒 痔疾科 小兒科 醫院 モヒ

做外 曲· 科京 安谷 野型士 安谷勇次

小口曲 兒腔科 科科般 **醫院** 

同

醫

院



産要 小野ヒサ子 発野 善恵

唐計時藤佐

東和京科 醫學士

何時往診の間に走す

門科" 小兒科

動ち

焼り

水资

たせ

J

竹食堂

**植地電話二七二四番** 

電話三二六二沓 八時日曜年午中 アンリゴールデス 御料理

電 話 二七八四番 月

會御料理 電話三一五九巻

1

| 本院錦町二丁目 | 本院 | 本院 | 本院 | 本院 | 本院 | 和一 | 大

口腔外科

會 御料理 席 在士町一丁目 電路三五〇七番 廼

切にお奬め申します。他の鄭で治らぬお方に

定仮

百五試 十十 球球 入入叛

金金金 拾五多

入院隨意

100 日本橋通郵便局前

**经話三七五六番** 

美人揃ひの キャピタルダンスホール自

富士町二丁自二十六

御 料 吾 理 內西五馬路

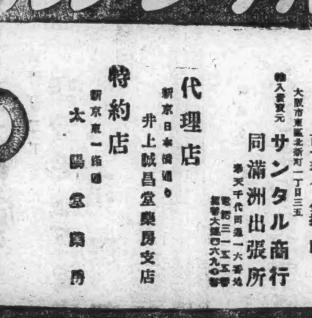
乃至三秒間ニ死滅致シマス

党便 八十萬入一篇 金加回

代引 二十七级

李天千代田通り一

豫が病にはの ノ注入ニョリ如何ニ强烈ナル病菌モニ ルヲ以テ其ノ効果ノ的確ナルハ茲ニ喋 ルラ以テ其ノ効果ノ的確ナルハ茲ニ喋 一滴ニシテ瞬時ニ奏効ス!!



髙 貴 葉 疾 世に淋疾の築品ほご種類の多いものはないが若し良質の白檀油が得らるゝなればこれに越した治淋剤はない、問題は白檀田界的本場印度マイソール政府が十八種の原木中の最良木を以つて本商行の為に特製したる精純無比最高級白檀油にして従来輸入のものとは全然其の探を異にしてが着んどありませんこれ本剤の誇にする。 印度政府 白檀專賣局特製

考慮の線地を有すれごも、現在の地き重要で訳態に於いては、陸下の赤子を薬氏たらしめ、貴重なる研帑を浪費する以外何物でもない、これは政府な動に一貫せる認識なく、移民関係るに事公の念はなきを立程するものである。 地のプラジル移民を即時中止し、満洲新板の質めに一年上し、満洲新板の質めに一年上した。

松花江下流に

鮮農の集団農作計畫

## 新聞

中谷時計店

興安四分省

看問三八五四

口本橋通路前

命じた

## 地商 奉天實業廳で決定す 證明執照は省公署で 租契約案

大確定し、五岭十一分数官し り可決確定。用版権法案も可

「納魯十四日雙議園」先役司 原を使した編門河頂安省政治 正作員は昨日常地に達したが 直ちに連續に着手し、興安西 分省政治工作辯事公署を無地 の崔興武公館に穀置し即時事

追加豫算を説明

「本天十四日養協通」 を経てたの方針を決定した りでは、契約譲渡の併法が完成 してるないので、今回賃業職 してるないので、今回賃業職 照を神給し、これを報書される時は、地主ご商和者の双方より酸価等類等を官域の人場出し、鑑定官局より執入を提出し、鑑定官局より執入を提出し、 在契税は商租者より完納せ を使けし、商和額の百分の を使けし、商和額の百分の をして、商和額の百分の

ではる事 の命令により設行する事 の命令により設行する事 で、簡相者たる日本人に不正

制家。日・富糸會社法案を一可決確定し、輸出牛系版質統可決確定し、輸出牛系版質統

解氷期と共に具甲化 総相より八年度追加預算、総 の大手四百餘萬圓の内容につ の大手四百餘萬圓の内容につ 職相より八年度追加預算。徳十四日正午院内に開議を納き十四日正午院内に開議を納き 晨家負債見込額

「東京十四日を映通】 無林衛 は負債整 m 委員會の要求によ り農家練予債見込証を被表し でか其總額は四十五億四千六 百六十九萬二千四百二回に達

圓を贈る 軍當局三萬

圓に達す 四十五億余 三陸地方の

「東京十四日 健園通」 陸軍省 では三陸乗災につき州征兵士 では三陸乗災につき州征兵士 ・た谷少將の報告によれば、 ・た谷少將の報告によれば、 ・た谷少將の報告によれば、 ・た谷少将の報告によれば、 ・た谷少将の報告によれば、

満各地に

低資千五百圓融通

多大の活況を期待

降雨量を観測

外交問題

ペハルビン輪人組合及び金融組合 が領中であつたが、大体交渉 が、するに至つたので、ハルビン輪人組合及び金融組合 が領中であつたが、大体交渉

以来ハルピント計解して小た 年北端に於ける未曾有の洪水

內田外相上奏

保証の祈植事業を助成するの が、家族さ共に大地に親しみ によりてなさるべきでな が、家族さ共に大地に親しみ によりてなるべきでな が、家族さ共に大地に親しみ によりてなるが、一時的 の中に浴び入るの心境を集一 『あのおが、奥様が肥分しつかりは行くまいよ……』

が、殿方はおよろしいんぢやござ も中々しつかり者だよ

が感で、深寒メヤ (と立ちは) とは、野間さんは、あの動り配行 のなりになったら、どんな で、深寒メヤ (と立ちは) 女特は武田日な南色では

私は更に励井氏の所編を引いて朝鮮同胞の横洲移民さしての重大性が優秀料を乗け、でして超して、今日世際行って、今日世際では、今日世際を相たるものでなく、今日世際では、今日世際では、今日世際を加入を後来の機能に放して東央・樂業の地たらし、今日世際のは、今日世際を加入を経済の地でも、今日世際では、今日世際を加入を持ちるものでなく、今日世際では、今日世際を加入を有すべきがであって、今日世際を加入を行うという。

の『下を欣はせたり砂袋丁臣 せる祈植政策なき最も良き覧 せる祈植政策なき最も良き覧 なるさ思ンは誤りた、朝鮮おれるであらうし、海外興業會れるであらうし、海外興業會れるであらうし、海外興業會

下院本會議

現住なしき反対演説かり、次整質成の旨を述べ、曲非賞一起氏の現在の政治機構では質を関いた。

のさして多大の別待がかけ6 界は非常な活製を招楽するもピンを中心ごする北端の経濟

朝鮮同胞に依る

日満興隆の途帰

小笠原省三述

一四日の

であるさ述べ、代つて岸田正 に入り小池四郎氏、張力ない に入り小池四郎氏、張力ない に入り小池四郎氏、張力ない に入り小池四郎氏、張力ない であるさ述べ、代つて岸田正

かれ等はフランスのデオマンハブライストセイの言葉を 想起する「毎年武器を構工で付くは、 一て同境を超えて流失する十萬 の構具に着る」さ、最上の観 富なる「人」を失本事一萬條 富なる「人」を失本事一萬條 「よある年?私は諸君の冷靜な もある年?私は諸君の冷靜な もある年?私は諸君の冷靜な もある年。私は諸君の冷靜な もある年。私は諸君の冷靜な もある年。私は諸君の冷靜な 

大力で存在では、10mmである。 「特権とは、関係を担せ ・ 大力で存在では、10mmである。これである。これでは、10mmである。これでは、10mmである。これでは、10mmである。これでは、10mmである。これでは、10mmである。これでは、10mmである。これでは、10mmである。これでは、10mmでは、

殿に母兵し形場に資うべし 政治工作辦事署 (競」) 音須

(三十十四) 池藤

日

案內

京

染洗張專門

電源三六二C香

消防線版人 かや

は、本館の の実施の機能の が原が原ができっかりを引つからして、 を変しを強の時はでおいて、まで を変しを強の時はでおいて、まで を変しを強の時はでおいて、まで を変したが、逆を引つからして、 を変したが、逆を引つからして、 を変していまった。 を変したが、逆を引いたが、逆を が原が原が過ぎてしまった。 を変した。 を変したが、が、 変には、もら質の には、もら質の には、もら質の には、もら質の ハ御真なる

香を れ、伊藤公以来、政治と符合は付っそりやア仕ががございませんわ 

一、石粉を全然使はQ糯米工場が魚々完成致しました製品に一層改明白と存じます

無砂米と混砂白米との優劣は御説明申上ける

までもなく余りに

食卓を賑はす水晶米の特賣

实育學經八時 建動散步/時 建動散步/時 建動散步/時

・普及のため景品券附きて特賣致します台所經濟合理化の第

一歩として是非御用命御願致します

水晶米二千以

(三月十日より向ふ)

群を加へ

シア政府

海連業作振に

投資

友がついてるから遊らないわね

億七千五白萬金ループルを投 治船登其他の改善費さして五 治郷輸入民委員曾参綱府は図 のの登選を図るため

「ない」(原オリー の取い事を会ふなよ」 と、職がは手をふつて探信する と、職がは手をふつて探信する と冗談をいふ。と冗談をいふ。

云つて郷香は安核と納込金 あの世間知らずのあつも

まりにイラくして戦かを称したが、もない即歌語しに聴を移したが、もない即歌語しに聴を移したが、もない即歌語しに聴を移したが、もない即歌語しに聴を移したが、もなりにイラくして戦が強い。無力では、して戦がからとがきませつたりしてもなが、ちと歩きませつたりしてもなが、 なくなつたか、戦いと云ひ出してなくなつたか、戦いと云ひ出して 時にばかりです

が終しい感してやつて来た。 せよ。今に入らつしやいますからっまで似ゆつくりお客をかき遊ば んを、現に作、今日のやうな押

こんなに野いのでせうよ」と関めてれないでせうから、その歌悟でなれないでせうから、その歌悟で いから、遠くなつても際さぬ様に こですがね、緑香さん、人間は概ですがね、緑香さん、人間は飲りちやかち行かないものよ 数の開先差をして真欠だと歌舞つのおかげる』と、簡字は海蛙々々。と、簡字は海蛙々々。 でも、真要でも、赤大學のメートでも、真要でも、亦大學のメート

まり此の無性の対象をして今日 かとよく相談して、門山をしては本傷のがき。その本傷の対象をよく相談して、門山をして今日 かとなくも はいと云へば、つ と、女様は我田へ木を引くっからねえ」

それなや、わたしだつて非の一

さんだつて門山さんや噺宇さんの なんだつて門山さんや噺宇さんの 印第一大 金華堂へ

と様かなる

凱 歌 方一

、知らぬが儲とはよく云つてる

日本刀劍(艦電腦科) (鑄止)(納水磁刀) 長春室町小鄉校前 井 上 示 現 杆 電話三二〇三次

下宿案內所 第二十二十四角 館 合脈の御注文は エスヤ洋服店りて、入荷豊富時代の先嶋を連る

道具一切 過花及生花 佛 超ほ三一〇八世 加藤葬儀計

元

田

商

店精米

所

等等等

五十錢景品券

百四十本

ども空籤なし

(最品券は叺の中に)

四丁

特約店

丸丸調德日今

辨 洋商 商洋商

行店所店行店

大二〇四三九 四三七三匹三 〇三三二三三

尾家浦本野

(三二二二二 1 四九五九二 〇八六匹六 和 六六七一八

商商洋商商 精

店店行店店 米

是主三世 隆 四 丁 杉清三坂淺 **犹** 月 尾家浦本野

本華田

各位

の彌増す御健康を祈る

据是新聞舖 第一條第二章

海域湖 各種製本専門 三省堂製本所 三省堂製本所 



石炭 和 后洋 产 产 产 行



大型新大 印 西美宝町 天

聞さして最古の歴史を有し、多年扶植培 を付む、實に滿洲の文化的開發を指導 座を估む、實に滿洲の文化的開發を指導 の最高權威也 滿洲に於ける漢字新

熊岳城産の 紅玉リンゴ(百日金土)園 季節に應じ 着荷案內 ふどん綿、

いに語所

され、中央軍第二十五節の如きは殆ご全滅に瀕し、 節長は傷つき、関長は収死するさいふ有様で、蔣介石は積季前。日本軍の古北口、真峰口占様後数回に亘つて猛烈な逆襲を試みたが、 その都度甚大な損害を蒙つて撃退北平の吳佩宇邸には護衛隊を滅し軟禁狀態にし、反動滅に一歩も隣を與へない中うにしてゐる。茲し積極抗日の下に入るしめるこさを約し、開錫山。李烈尚等をして馮玉祥の出蔵を促し、蔣介石さ會見すべく取計らはせ、又下に入るしめるこさを約し、開錫山。李烈尚等をして馮玉祥の出蔵を促し、蔣介石さ會見すべく取計らはせ、又 々對内對当的に重大危機を孕んで來た 抗日の不可能なるは勿論。 幹は蔣の內命を受け、北平に於て各國側さ折衝を續け、對日關係に於ては蔣勸によつて此の難局を打開の道を講ぜんさする氣運濃厚さなり、外交部長羅 が十四日保定で蔣介石と會見、 日直接交渉に進み得るか。中央の手によつて掌掴された北支政局の不安は容易に去らず 却つてこれが日補軍に関内進出を挑敲するものであるここを知り。 新局面展開に關し協議する筈である、果して 最近外交 せ、又が

3

## 軋轢具體化す 張兩者の

あるが、北支に覇を唱へんさが、北支に覇を唱へんさが、北支に選呼さなりつつが、北支に選呼さなりつつが、北支に選呼さなりつつが、北支に対して、北支に対して、北支に対して、北支に対して、北支に対して、北支に対して としないかさの空氣が漸次表面 良素勢力の對抗衝突を醸しは は不動しないからの空氣が漸次表面 兩者の衝突不可避か づいて宋哲元に五萬元二賞典

京

新

學良伊太利に外遊

半歳保養し歸國

噴飯に耐にぬ

支那一流の戦勝宣傳

我軍の長城線不出を見て

獨りよがりの大ほら

良は伊太利より韓副後は、南 伊太利に向ひ、同地で約六ク 伊太利に向ひ、同地で約六ク 伊太利に向ひ、同地で約六ク 度は伊太利より韓間後は、 で先づの用目に亘り並襲して来たが、の先遣縁たる快速除の田村工語・ナー増)を指揮して去るナ、十一一衆一君は下窪に終て高田部隊語劇後は、要職に、舞長らら 附本籍大分縣大分郡東上田村 脫退御諮詢案

人多数あり、さが版つたもの 情してあら、殊に朱哲元の報 告中には戦利品の値一千萬元 に達すさか、捕虜中には朝鮮

**ろ悲悩な氣がする** 

せてるる工砲第〇〇隊司令部 があり、昨今軍司令部に報告 があり、昨今軍司令部に報告

敬庭抗日を叫んでゐるのは事 歌も昨日來、再びいきり立ち 歌を作日來、再びいきり立ち

(徳州十四日被総通) 已に無河省内各要地は找が有に轄し今や古北口、夏峰口の南編門の最後の占領さ共に皇軍の熱河討伐戦河の日章族が完全に長坂上に朝るに至つたがこの

を遂げた 名譽の戦死 足達上等兵

密雲に

に潰走す

敵損害莫大

最早全く戦闘力なく。又再起間に潰走して整理中であるが 英大なるものあり、我軍の猛は別項の如く畝の損害は實に 体へもれた古北口方面の戦闘

も網壁視されて岩 取引の側滑を計るため鏡稿取の側滑を計るため鏡稿取引の側滑を計るため鏡稿取引の開所 チ、ハルの

段置を企劃し電局に申

連備中であつたが本月三日正月の財限を附して源町を受け続の信果前月末試験的に三ヶ 式に開所した

なつてゐる

議會後の 鶯藤內閣 首相の進退を巡

日支問題の

九名の委員に附託

閣は非常時局に剥する重大使「東京十五日酸衂頓」廢職内 り各派の観測 (東京十四日菱崎山) 日支田

脱退の既定方針承認 して脱退を疑問十九ヶ崎に避らな事實を観られてるる。而 王意書は外務省告示で公布

帷

決して變更しない

笑止羅文幹が決意を語る

れは全部日本の責任だ。こ

**煎解を求めておいた** 

長さする九名の海査委員を指

「東京十四日養師通」帝國の

あるが右衛査委員會に於て日名してこれが審査附託の答で

中央軍飛機廿八臺

利を頻りに官傳し、日本軍をは真体口に於ける宋哲元の勝(天津十五日登副曹)支那側

大砲十八門を取つたなで大々

的に報じ、遂に蔣介石笠元氣

對日の方策は

が世日に開催され: ウクライナ分離

ソ聯英獨波に抗議

粉甲問題に隣し聯盟と意見を 明務省の告示を以て及布し同 明度さなるべく脱退主義費は 外務省の告示を以て及布し同

日支への武器禁輸 實行不能で放棄

英大使有田次官に言明

(東京十四日 登録道) 貼りな の日支雨風に對す

を放棄するに決定した にので今後英郷政府さして にので今後英郷政府さして

日銀週報

(東京十四日登域派) 本日後 表の日母選和によれば 表の日母選和によれば 画宝 0人 保健門師 三次 三公 保健門師 三次 三公 

「モスノッ十三日建館番」ソ の分離運動は外部の援助ある 株和 間代表ペーロフスキー氏 ソ聯政府は頭。英、波の三郎 はウノライナ共和國ミア等邦 に對し右運動の機能は養護領 保を阻害するものなりまの見 地から三個に警告的抗闘を被 する要のる首を方説する例あった つた

其数は二十八篑にして、中に罰を連ねて北方へ向つたが、

哲は第七版(古北口の東方高

の帰盟脱退を承認する事は明

脫退諮詢案

見の開陳あるべきも結局日

なきに立至つた責任問題。

に努力する旨を平外に剛肉すあるが今後ご難らあくまで東あるが今後ご難らあくまで東

伊の平和並に世界平和の維

湯玉麟名儀の

局梁等逆産ごし沒收

【古北口十四日日報報》】王以

王以哲軍大敗

右は表面抗日のためさ解

あるので、過玉網名機で貯蔵 帯が熱河距軍のため掠奪し参

会計四千数百石を遊産さして 受收し、黄色教際に充つるこ

「東京十四日最前週) 電器脱退無済物案に就き、倉富線長退無済物案に就き、倉富線長退無済を受員長さするため、平沼券を委員長さするため、平沼券を委員長さするため、平沼券を委員長さするため、

てるるさ

ノドヨコノ

より語でを実化

**子買合る店** 

昨十三日正午南京を出費。銀北上中なりし支那軍飛行債は

(南京十四日發體通)過日來

銀翼を連ね北上

精育 (本語 ) (和語 ) (

日支問題は差常り補支額

し、蘇州側は抑留及陰送費されては新聞中の蘇州女軍は新聞省を神器中の蘇州女軍は新聞省を |十萬元は既に南京政府より 新彊省を經て歸國 南京から輸送費到着 税の中を第一線に立つて騰減 門に匈ひ前進を開始し敵の構構薬に参加し四日更に容拉溝 に向ひ敵を急追して三月二日の他少尉の指揮の下に長闘赤峰 で全線の損害を合算すれは軟 に乗退された。十三日の戦闘 に乗退された。十三日の戦闘 に乗退された。十三日の戦闘 に軋轢を生じてるる、 偽詳報によ 数に達してるる、 偽詳報によ の死傷者は約一千名以上の多 |一日長城ハート型坂壁附近に | 歩め十四日稜崎の 去る十

重傷を押し 日取の打合せをも気した

に通常なる時期にだいて責任 つた (連絡なる時期にだいて責任 つた) (場合の) (場合の)

歳しては如何」さの提議あ

に調洲 社會事業聯合會を

条を賛成したので民政部も任命協議の結果何れるこの

本年新春に於ける某失時

相側近者の中にはこれが延命

の機関を統平するため、中央を組織し、然して後之等多数

古北口の

諮問委員會には 加はるが 聯盟に拘束されぬ

「アンントン十四日調神」

「大神・ でおに願する説明帯も提
出されたが、その全文は十四
にフシントンで産表された其
での内容は
にフシントンで産表された其
であるが、ウキルソン氏は
の内容は
大師政府は日支粉争に関す
る。而してお問委員會に強め
を指名して諮問委員會に強め
の内容は
大師政府は日支粉争に関す
であるが、ウキルソン氏は
の内容は 中のいゝ米國の態度 全市長を推薦する管である 目下連備中であるが會長には は社會事業聯合會組織に関し

事往來

諮問委員會に 

一、前政府が参加する旨養表で 有名無實に終る外ないものさ 有名無實に終る外ないものさ 観測して語る ▲馬仲桜氏(登口税職監督)十四日午前八時三十分お水~ ・一年前八時四十分のルピンへ ・一年前八時四十分のルピンへ ・一年前八時四十分のルピンへ ・一年前八時四十分のルピンへ ・一日長)同上 ・一日長)同上

米の参加者有名無實

▲迫桑吉氏(陸軍經理事校教 第二等主計止)同上 第二等主計止)同上 第二等主計止)同上 第二等主計止)同上 第二等主計止)同上 第二等主計止)同上 和出年前九時兩行 本大石幣松氏(大藤寧耻是)十五 日期前兩行 **心生)十四日午前九時級** 本英明氏(南京穂韻事館

一、日支問題は日本の場開於 選布告に依り、實質的に影響の手を離れ、支那も亦今後は真ら週内收拾策に腐心すべき默勢にあるから諮問

新京土地家南紹介處

一、世帯道具及オモテヤ店 一、世帯道具及オモテヤ店

に名誉の歌 ート型城壁戦闘で

部以下将兵の

殉職警官の

**弔慰金募集** 

五分養婦任の第に就いた五分養婦任の第に就いた 

兩洲仙會事

は誠に時宜に適した時情な事業聯合曾を組織さらも事 「民政帝に於て今回帰刑総社 業聯合會 全滿的にやる 記しますから市民各位の厚き舞員情を舞組ひ致します。 を致しますから市民各位の厚き舞員情を舞組ひ致します。 を致しますから市民各位の厚き舞員情を舞組ひ致します。 を致しますから市民各位の厚き舞員情を舞組ひ致します。

敵の死傷

第廿五師、王以哲軍の軋轢

蘇炳文軍は

の戦闘に於ける我提客は左の十日以後十三日迄古北口附近

三宅部會

十二日まで

古北口戦闘での 我戰死傷者

あるが。中央にのみかる 其籍中企 他切込個 

方工方 民 員議務

新京日日新聞社

カフエー開業ニ付き女給數名至急入用 女給急募 

広來ませんが宜敷 新しき店で御藤足に 御料理 美

東三馬路五十四號

美人の王國です

御料理 西三馬路 電話三七三〇番 路

路馬三非 日本個

求貸家及間貸 株式 會 社 新京東一條第10

子供洋服及びメリヤス實店平急譲り度シ帝皇者は書品へ

춁

告

を戸土地家屋紹介處 新京院 明丁自九

規定以上だどて本人に返送小包を一旦受付け消印して

# 新京局に非難の聲

強く呼ばれるに至つたが、十四日郵便局小包係員自身の不行屆から 送者に二重の郵送料を支拂ふべく余儀なくされた事件があつた 繁忙とはいた最近新京郵便局の不行国、不親切の聲が市民の間に漸く

間違つて受付けても 消印返送は當然 新京局係員は豪語

印をして返すのが雪点だ」さ そうあらうさちょつされ話で、そろのでせっか、よし規定が なつてゐるのだ」さの言葉。

中村茂一氏(假名)が大連武四日朝京永樂町四丁目一番

釜山、奉天間列車は

んな名稱が?

に努めてゐるがいづれも逮捕するにいたらず市内は概意署を始め首都等な際。城内各署で権力犯人搜查人に重傷を負はし逃止した人に重傷を負はし逃止した。場院を所持せる。帰迩風が一夜の中野京破門外に、郷銃を所持せる。帰迩風が一夜の中

統與を聞き付けた同署派出房 貢請鉄創を負し金品を撮奪中 有方へ四人租の支那長衣を着

(平廣發) 九日午後十一時頃

本艦鹿×都山下町前頭洲崎寺 連行して調べた所同紳士は熊

朝鮮鐵道で懸賞募集

(五)一等智護者一名以上あり

△在學五ク年間品行方正學カ ○在學五ク年間品行方正學カ

遊興客が

强盗に早變り

神統創を貧した未金票九圓衣館配同様の四人組券鉄強盗が

社丹臺裏朴某力へ鮮血にまみれたフロフタコート着用の神士が入り来たり。自分は怪しい者でないこいつて水を求めた上朴某に來信に自分はこの世を去るが欲つておけこの電機を書いて大同署に持砂してくれさ依頼した、同署では糠

たが、九日來壤、牡丹瑩に

士毛利福太郎(四四)氏で、贈業部工務課長東大出身の法庫

**停削刀で頸部五寸除を斬つ** 

六百圓を强奪逃走

類野點を職奪逃走した

犯人は遠來

優を揚け遊典登楼したが、

が解解まるを見ざいけ、右三 線人選興客

に三名では、を一定に押込み名は突、常統を取出し届人並 一名が見法をなしてゐるうち

なに同者で、犯人が脱ぎ来た

担むので保護を加へて同署に
めんごした所同紳士はこれを

赶き件で紳士の手篙を行はし、沿署長会器を伴つて朴某方に

の者か

他の二名は、主人の寢室の扉

明記の上朝鮮總督府職道島

一大事 に取計らは

によそに 野吠島が配送されてこれもの島の配送。今付じなき なりで送るここが出来たもの ました。この一事に限らず

新京高女はれの卒

けふ春陽

に惠まる

の校舎さ大思深き結先生方さ

△在県五ク年間精動賞秋本百本

新京市中の唯一の交通機関で 馬車等の合宿所集合場を投け 車千二百台は時への要求さで 且つ市内各所に駐車場を投け 車千二百台は時への要求さで 且つ市内各所に駐車場を投け でも自由利用 全部の馬車洋車を宿泊せしめ が出來るここになる際けであ

集合場も設置

同業組合組織さる

を見るこごになったが、崩壊 を見るこごになったが、崩壊 を見るこごになったが、崩壊

機関)権股(住宅、市街共衰等)交通(公私交通關係

一般市況の盛

馬車の

礼跡をのべ送辭さして濟水 ( 氏。田中領事、東商業即校長 ・ 田中領事、東商業即校長

物語奉讀さ式順は進み卒業體

拳銃强盜頻々

り、座談要項は左の減りであ 京在住の有力者ら約十名でわ 京在住の有力者ら約十名でわ

大、町の功勞者(日支歐)

**聴かうごいふので、來る十八**の娘の沿革學還に職して話を

の業績)

民自共の他公共機関の消

人々を集めて、その苦心さ其さしての辛酸を具に体験した に夙くより渡浦し所謂開拓者 新京地方事務所ではこの機會

四、往時の日本人の生活(其一一、件局地の娯楽及日曜を翻一一、作者の日本人の交渉

他より見たる沿革叟選 の他会私の緒施設)等其の

一夜三ケ所に出没し

家人に重傷負はす

く決定した 研究の結果 た

馬品(帕巌石製の酒杯。

満洲國より出品 0 **花颜。 茶碗 匠)** 

むびる

子、水谷佐多子、横山千代 田榮子、松村夏枝、水江文

\*0\*

\*\*\*

小松倩子、砂塚吉江、添田 子、畏尾復美子、木下芳子

何子、佐食雅丁、佐々木覺1路収枝。見卡莉枝、小公

ものも現らん。のも のも現らん。のもが右遺 がなく北場方面かん は新京近

事を云た場合、強盗のみで

L版を横工をしてるたやう 工版で横工をしてるたやう

たが仲々學者肌な人でした

節市では気に備付けてるる

法を活じて貰ひにい。

がひである。 でしては警備式鈴の備

毛利君は昨年四月三日暫定

術泉を除く各

シカゴ

視察旅行團の

を代表してシカゴ英『博覧日(幸天十四日最通道) 構力表

れる物品に就いて

プを切る

本年は満洲熱旺盛、折抦さて のはももとすな引いて萬善を が陸續さして來るもので議 が陸續さして來るもので議 では、航空食計等は のないでは、一般祭 一中の北領地方修写版行園百 島高等節範女科生の鮮単版行 島高等節範女科生の鮮単版行

高師生ら近く來京

△鶴廣賞輯谷八重子

八亩子、尾翻清子、松村夏

**後原信子。☆薗ヒサ、顧谷** 

木下芳子。中間ヒサ、前川本下芳子。中間ヒサ、前川

卒業者氏名

秋本百子、朝食マテエ、井

仁、李永淑

**微尾さし子、横尾浪子、横**尾浪子、横 **周濶亥子、水江女子、水谷子、光崎・ロミ、松村夏枝** 

菊枝、津崎ミホ、宮崎フも 雄子、福祉シブエ、韓川な子、西山多蔵。林キタ、暦代子、仲谷雲子、西尾伊郡 英子。中川さし子、中村子面にサ、津崎しゅ、長見気 谷八重子。添出菊枝。

警備電鈴を

最近・織めに養生を見るこ が、各家庭において防止方の強盗事件を防止するには

倉田司法王任談

か出来。今回の事件にさる利で危険をよねがれること なく火災の際でも非常に使

修學旅行 新京高女の

日より二十日間の豫正で内地により二十五十七名は武田、中間、矢崎、三数師引率の下に本月二十五

憧れの内地へ

背話を聴く

草分け座談會

新京地方事務所で

帝 附 新京地力事務所増 西族場小事校父兄會へ金十四 を寄附しこ

HILLIAND BURNERS

△別方吉劉明二丁目十一大野タマ氏、十四日午前二時三十十分吃去

息々開演した

京山華千代

八、隣壁の緒施設に耐する批 七、著しき事件の懐出

1、 延濟(諸事業の興慶。特 九、 鱗來の展室

元實業部の工務課長

朝鮮で自殺主義

失職を悲觀した結果

はまりります。 一行は十五日 があるしく長春座に乗込んだ の美行 しい人気が何へられてゐるのではあり南方則行中のすばら

山田上な命門」あるさ 祖忽、機席父帰る。二日初日の語り物は『席梶川大 で前々、盛いが豫想される 等一周五十段。前後券は各三人場料は特等一関八十段。一 は半額さなつてる

信につき青業部吉川人事製最 六月まで 

當る三月十五、十六の兩夜限り

玲瓏玉の如き音聲で獨自の節廻し にこれ 日

京

お聞き落しなきやう 0

遅反にしても

1曜と一等さして選定す

(三)必要なる場合には解説を

サエ。木下芳子、馬淵女子へ本學年間學力優秀賞河倉マ

走の客が来たり。いづれる俳 堂こさ呂鳴響方へ十四日甲後 堂こさ呂鳴響方へ十四日甲後

ひ競送した

して再び大鶴の郵送料を支拂

余りに不親切

時ぐらるのこさです

好む色と文字<sup>®</sup>

中村氏憤慨して語る

民中で其の大

は、健來の廣告や實博文學に只数に特に注意を要すること 禮智信の如く孔孟 随有性から出まし 字でも日本に於て今使出され 野得される漢字の意味で議州

の異る場合が往々にしてある。 おから。 顕光語を解せざる者 と『キット』を云ふ意味に解するから。 顕光語を解せさる者 る場合は特に此の點を研究しか漢文を見たり作成したりす した熱学であるが、漢。确。 本に於ては親切であり大切に 十分屆出に接した。 新京署でから悠々逃走した。 午前六時 十四衣類新點時價大百圓を掘 摂食に努めてゐる

十五日午旬二時四長也略申禁

浪

我が藝壇の花

語り手多人數につき午後六時開演

一杯食つたい情しさに、職を

勝石に可愛い数で道の事だか動はしてるた。 ・ 聴う言ひたうはなかつた。「何後職、如何動きう」 ・ 聴う言ひたうはなかつた。「何後職、如何動きう」 を言ふ聴しいち、なので、何は視したの と言ふ聴しいち、なので、何は視した。 と言ふ聴しいち、なので、何は視した。 と言ふ聴しいち、なので、何は視した。 と言ふ聴しいち、なので、何は視した。 と言ふ聴しいち、なので、何は視した。 と言ふ聴しいち、なので、何は視した。 と言ふ聴しいち、なので、何は視した。 を言ふ聴しいち、なので、何は視した。 と言ふ感しいち、なので、何は視した。 と言ふ感しいち、なので、何は視した。 と言ふ感しいち、なので、何は視した。

●九紫の人、意見の衝突手論 の誘はせ6ると事あり注意

戌が吉 4650

出世の途四けて

大阪商船出帆

ない。 ないでは、あららは、 ないでは、あららは、 ないでは、あららは、 ないでは、あららは、 ないでは、あららは、 ないでは、かららは、 ないでは、かららは、 ないでは、かららは、 ないでは、かららは、 ないでは、かららは、 ないでは、かららは、 ないでは、 ないで

主葉 慾;

(B)

花養う の 競の 激 回前で、 黄木原に依つて 野人上の がから含ひ、 大田(小泉) が 部の がから含ひ、大田(小泉) が 部の がから かん 書作 村瀧 川

空・変き狙か吉 の念を去り程能くするが高 か凌けは後は却で樂さな一時二黒の人 芸화困難も一時

日大十月三百十十月二新

展帯はづかしとはつて楽たのを観響を 帯手知つたる滅之戦の低声、「随り論 が手知つたる滅之戦の低声、「随り論 が大声化 この時、歌が趣の父郷性勝巧 この御川野の以前にる質様 から、様大郎の失踪国

元

たった。一点一点

のガ

で関連る、会議が探ス戦略

新京川張州電。二二一六聯 大阪商船株式會社 大連 支 店 電路四 三七番電路四 三七番



電名 話東 四二七七番 向申込下さい、 無代進星 無代進星 部養鷄團

鼻風邪を引いたら

感だ

たら

門司、神戸(大阪)行 (解偶数日午前十時出班) がる丸 三月十八日 で 米利加丸 三月十八日 で 米利加丸 三月十八日 で 米利加丸 三月十八日 で 港 丸 三月廿八日 で 港 丸 三月廿八日 で カ い丸 三月廿八日

黑代故良種鷄 一ヶ月四十萬羽孵化 一ヶ月四十萬羽孵化

農家の利益を増大する 分 品 公司不

派產出婦婆

ス 青雲のおを懐き

水久さ思ひ返すべし人 辛抱は一時なり

●四級の人 分別を生なひ易 ここ未ご客が古 卸賣相場未 筆處 町精干區東市屋古名 會商 ムゴ城 金融的

投 賣 特 か ぜ

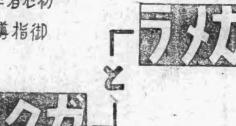
賴

信

E E = 堂然天岡師蘇青龍 X - X 軍隊兵器手入材料揮發州、酒精、染料、膠目本ペイント途料カーバイトシケラツク兵器及工業用諸油工業用品、各種ウエス陸軍諸官衙御用達 電話 園 三四五八番本店 版順乃木町三丁目 本店 版順乃木町三丁目 本店 版順乃木町三丁目 本店 版順乃木町三丁目 

營業案內

第次話電湖八二者心初 スマシ致上参上導指御



輕い内が大い

類がいてす

すぐ質効散を服んで

實际数に常

填 B 틞 新京吉野町 電話 次第速次派出致します (雅麗婦入院應需) (雅麗婦入院應需) 日滿家政婦人會 產務省発許 新京祝町五ノ一四番地

記念品 競彩品 贈呈品 満洲國向美旗七旦類投發) 御用 菜 茶縣·置物類 煙華具·花瓶類

洋 0 春

科多 三廣背 下上服衿詰 穏 ンポズへ代

花

京视町三八三

は

請負 電話ニニ人三番・I.以二七六〇番

十八貫正味大樽 庭向 が かない となりました 新二大馬路三九

二圓五十錢 商 七圓八十錢 電科三七八六番

金州澤庵

自園產味自慢

宅 電話二〇八八番

澤庵 大賣出

一、正味十七貫入 シマシタカラ御諒解ヲ願ヒマスシドシ御用命ヲ願ヒマスカラ取消シシドシ御用命ヲ願ヒマス 正味四貫入 壹樽金七圓二十錢 ガツ マシタカラド レ丈安價ニ致 也也

袋足助稿

助に限ると領点であると領点であると領点であると領点をこめた福



まだ決

「鉛の四身一日上海到素までは根本方針を歩行り明心だが、それは日本軍の間内進入を、沖11日産認道」 縄文幹は午後三昧半津浦線

の観たる支那の

の本腰

短時間内に於てよく作戦の民衆及各位の援助の御陰で

兩事變救濟豫第

自 自 間宝にて地方部所属員に 対する訓跡

三宣

一萬圓を計上

同日午前十旦糠聚者。歌兵除四兆動。守福降。殺捐品を

口戰參戰

こ言ふのが異相らしい 間せんする短謀の樹踏る

の程度のものであり、事實は、羅は徹底抗日方針を外

市台の決議を以て祝意を

將介石軍

自個地盤擴張

大内一等兵重傷 大内一等兵重傷

動を命ず

(東京十五日産協領) 外務省は八年度追加強な臨時部に終いて、三百三竜園を計上してあるが、右は昨年の上海事件及び補刑事變に際し、被害を受けた同地在留邦人、一般外人に耐して、牧恤資金ごしても乗する6のである而して右

給興に際しては外、陸、海、大 を受員者を担信し、被救恤 3 の資格審査を行ふこさらなつ たが、外務省は右委員者の投 定の法律案を今請省に提出す るこさらなつた

村通學校、公學校、**國**香館 根源

損害を受けたので、何慮飲は

伊太利

承認し、

、國內整備に友誼的援助を與ふるの用意を有すると共に、支那政府がその非を改めるに於ては我政府は、從前の如き

從前の如き友交關係を回復

日時務院で在京記者願い替見 助軍政部總長張長惠氏は十五 の経済との経済といる。

でである。 である。 はいでは、 は

中央軍の不足を納ふため 機中の第四時に對し、 古

直ちに

進歩に對して誠に

信任狀棒星の手織き 手織き

新京關秀館、室町小學校、条新京關秀館、室町小學校、

日支端の關係調整の擧に出でん事を希望する

を援助すべく、列國も亦好意と援助を與へ、正式承認の速かならん事を希滿洲國に關しては飽くまで之を獨立國として承認せる所信に從ひ、之が發

り開催さるべき、

軍縮會翻其他の文化的、經濟的事業には出來得

和に協力するは論を俟たない

は止むなく聯盟を脱退するが。平和精神には變りなく、列國と共を終了した、聲明書の青子在の如し、飲服では聯盟脱退署告文の提出と同時に脱退に闘する、帝國政府の聲明書を憂衷さ決定、以

秦表 之决定。外

聯盟脫

晋 する 

全甲白米

の眞

息は

村合せをなり五味酔去した 投物を述べば任歌締員の手動 特別特別に外相を眺ひ敷任の

住に入り、衆國院より途附されて戦争の独河洞伐には1感謝の

看 米 部

學校學生

**助盟、滿洲國、支那問題に關し** 

の聲明要旨

斷乎我决意を表明

駅するご云よてるる 駅間に入るから鄭州方面

日下各方面から激励されて、の言ふ所に依れば、蔣介石

協も掛聲だけ

は東京十五日登明 」 貴族院本會副は午前十時十五分朝育本會副は午前十時十五分朝育本會副は午前十時十五分朝育本會副は午前により編

・ の二素を一括額額にし蔵相よ の二素を一括額額にし蔵相よ

一。日本製碗株式會社法案一。製飯業獎勵法中改正法

**質励せしむるここに決したさ** を促して、西南に代つて蔣を

以南確保

軍司会官はその数びを数に答 場の境界を確保したので武装 場の境界を確保したので武装 御旗輝く

の意を確めて据るされる ・ 長城高里御族輝く ・ 長城高里御族輝く

して暴利を得んさするからじ、一部商人が諸官を流布 ださ 6の出兵を見越してゐる5、熱河の喪失に伴ひ西南か

討熱凱旋

長視察中西地方部

総長語る

一年前九時から左記顧序で親 後七時五十分來京したが十五 日年前九時から左記顧序で親 「四年街支船段」管下編輯沿 個条地親祭中の中西編輯地方 部号は乗る十六日午後〇時四十五分 静南行の豫定なるが常地に終ける、親祭プログラムは左の 11 日午後七時編載社員タラブに於て官民有志さ所輩なる挨拶 にたて官民有志さの懇談會 にたて官民有志さの懇談會

七日午前九時四平街神社参 ▲大連鈔票 明回

111111 mg

一菱 1200

| 養蓋| 臺

**→** 大連特產 麗|| 金 克曼西天皇吳引 七大升汽二現月月月月月月月月月月月日日

廣東省内の銀行 十一日一齊に取付

長城萬里

西南からの出兵見越しか

英元云 東元云 東北 北 北

**キラルに招待総談會に臨むは** 年後六時より官民有志を大和 宿泊所。水源地、尿尿峡分離(以上午前中)西炭場小 中西地方部長 オノベンスチョンル ステーンが快 ステーンル フテンル サーフ・デンル サーフ・デンル サーフ・デント

墨画 1回 上海日本向 当前四分二 

四平街へ

▲上海倫敦向 ・ 一売片分 ・ 一売片のの ・ 一売片のの

第二回 那一回 ★大連煙台向 大連 1000 岩南東 1000 岩南東

吴

燕洲

内田良平

五人一漫自櫻 香 b

金牌拜受の人気の店 輸入組合加盟店 ・製菓洋 変 さ モ カステ 高い 5 春四九里

义化建設を

ブライス氏聯盟に海

格人品(外)通品) 云"公司 再输入品(外)通品) 云"公司 再输入品(内)通品) 云"公司

処害すな

日本の満洲に於ける

く、軍ろ何應飲のパッククとな 化上は静線に横出す気めでな 北上は静線に横出す気めでな 支の地盤を固むるさ共に関鍵が入るが保定に鎖座し、中支の介名が保定に鎖座し、中支のが、また飛行機の態時は遅れている。

滿洲國一

を作成せしめつつあ 貿易概况

元云 一会 一卷

10

全豆木鉄 · 主を柏け取っ

を検えように、 1年前)を を検えように、 1年前)を を検えように、 1年前)を を検えように、 1年前)を を検えように、 1年前)を を検えように、 1年前)を では、 1年前 では、 1年 本東機體紙 扇 ( ) (

東を示してある際の版と は、あれは中華民族と称素の機士ではない。 を示してある。 が、あれば中華民族と称素の機士ではない。

五 東鏡大 優雞大大

天気で気象 

11.

表数

四現的限 豆豆

八七大七四 項 月月月月月 限限限限限 物

大 豆 现物 三秦00 大 豆 现物原则金票 4-秦00 大 三 现物 三秦00 大 三条 大学の変

現物 本 大連ない。 1000 日 100 ▲恰假資特產

| 經濟| 機 

新京輪入組合では役員會議の

東北地方大震災に附し全

遊したが、右につき海軍省で 遊したが、右につき海軍省で

され、省長より一千萬國殿費 (ラテハル十五日最終ま) 春 緑は十四日午伊三時より第會

新京署の

特に勉强如何様にも

**炮强第一** 

二月中犯罪統計

戦後者五百名、不具脱疾の督順の海軍戦死者は百七十五名の海軍戦死者は百七十五名

様の上り大洋白金元。質物の 様を擬して養迫5上荒橋にて 様を擬して養迫5上荒橋にて の間が開発を がある二人組の間が関入支配 のでは、 ので

黒龍江の

|将に属する調査の打

集者の機案事項

**嬉野へ御用命の程を御宴會は是非** 

輸入組合で

東北震災義捐金

**海軍航空隊** 

少年航空兵の

米國でも遂に

麥酒が吞めるか

麥酒法案下院を通過

初訓練 (土浦十四日發 a 通) 海軍航 李融少年航空兵四十名の第一 回野り訓練たる房機半島一周 回野り訓練たる房機半島一周 一世職代行の第一日は十四日 をは一アル式艦上偵察後八機 に水上練習の十八名は一號式 ル上偵察後一機に全乗して買り補 を出身、奥女征空の社逸にの を出身、奥女征空の社逸にの

「ワシントン十四日被除職」 て可決し直に上院に適俗された民主職職員トー 特可し之に既稅し並入の増加マス、カンンの麦酒法案をご を図らんさするものである「大票對力七票の多数を以つ」

トの無精を含む季酒の醸造を いの表情を含む季酒の醸造を

救濟凾を設置

満洲國の衛生工作

功を收めて第一日を終つた 関れも無事闘ク浦に時選大成 四十五分、水上機は午後一時 現代で、一時 関大成

宮崎縣生れ市門中央涌富士屋

名譽、地位、黄金、もい6 ない。たで死を遊びあの天 観にいそぎたい。だだ死に 観にいそぎたい。だだ死に

ては英事よるしく頼むさあって然しい、会員についるのでに天國に行く考へるのでに天國に行く考へ

こになつてゐる。一方また同しては三名づく配置されるこ

第二(日三月十一日午前九

**学豊富に準備して御座** 

、農家經濟調查中改正之

薄利多賣主義

務司では日本留事生さして

明二五)

れにはカルモテッを便用

一優秀一選状しいい

事變海軍戰傷者に

海軍で社會施設

数番を受け鎖洲副の模範警官 なつたが、一行は内務等警察 のたが、一行は内務等警察

するやう騒迷した。 なほ一般に対してこの際畜犬は繋留

春まだ淺き日

平康里に登樓カルモチン<br />
服用

元興安總署勤務員

八青年厭世自殺(未遂)

しの試みであり、常路で 将導員養成は今回が全く始め るここになつた専門単校出 毎年春先になるさ現はれる恐

を、また動町四丁日三十六番地 果在犬さ利明し、和日撲殺し

息の二十五分の三」である

| 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937 | 1937

狂犬恐怖時代

「東京十四日登認通」東京版 にから、島徳蔵は何等の罪を にから、島徳蔵は何等の罪を にから、島徳蔵は何等の罪を にから、島徳蔵は何等の罪を

外に進展を見るべくその成行の手紙を将特高課長の手許への手紙を将特高課長の手許へたのだが、右の結果事件は意

模範警官養成

きは注目されてゐ

専門學校出の指導員養成と

日本に留學生派遣

**加國で最初の試み** 

 **仮害者七名に達す** 

いづれも直ちに撲殺

卅五名の富豪

反革命サボタージュ

(=)

電銀合の手が更にこれら 諸畿道委任經療によつて消

廳開廳式

さきに官制の公布を見た哈爾 に擧行 きのふ盛大

新京地方事務所長荒木章氏

同四時中極めて盛况裡に散

、郭家店大野重船店自己 今議職題の使

毒瓦斯撫賣事件 意外の方面に飛火か

昭和七年度即合質松本員

豆を混入する者激増し、4 不正行 混保 禁ぜら

**人豆の取扱を** 

青訓出願は

用丘崎に者し大保

十五日至三月二十四日四、郭家店縣山商店自三月

五日至三月二十四日四平 一、縣家店恰和興自三月十 新京間

月十五日至四月二日鐵街

の兵権

大日本副民教育映畵讀 本 五日至二月二十九日 職組 中街納京部

長を開始人房希望者は本月末 | 「四平街支局後」四平街支局後 | 四平街青年 本月末まで

までに脳帯を提出された

等保屋宴一郎氏は新任徳野の大連から原京署に轄任した高 新京署岸氏着任

元間

ぜんざいぞうに

んそは

町笠三京新

唸を生じて大評判

不况を外に大發展

慢かば焼トざんぶり

の指導の下に御婦人用衣裝部を開

設致しました、何卒御立寄り

此の度エム、エス、オリメルト嬢

日本橋通り三〇番地

ペトロフ商會内

三笠町二丁目 靑

(良產物生產調查)

作狀况季報及縣農况

電話二九四二番

三笠 町二丁 目

曾我廼

軍話二五八八番

鍋物類

権
ク
枝
町
四
丁
目
・

古

スマ居テシ待御 电話二四六八卷

力

花も實もある 美人揃ひのウエータ連のテ ホガラカなホ

が発力を映り

を贈りの ラム及出席者

料理は江戸前

位三人三〇コ